

2019年度全国安全週間

【全国】新たな時代に PDCA みんなで築こう ゼロ災職場

【当社】危険を見つける安全ルール 全員参加で 災害ゼロから危険ゼロへ！

… 本週間:7月1日～7日・準備期間:6月1日～30日 …

- 社長メッセージ -

2019年度全国安全週間を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。平素は当社の事業活動並びに労働災害防止活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

全国安全週間は、1928年（昭和3年）から実施されて以来、今年で92回目を迎えます。この間、建設業の労働災害は、着実な減少を続けて参りましたが、2018年（平成30年）の全国における死亡災害は309人（前年-14人）と減少したものの、休業4日以上死傷災害は15,374人（前年+245人）と増加しました。

千葉県内における死亡災害は10件であり過去最少を記録しましたが、近隣の埼玉県と神奈川県では、過去に2度ずつ一桁を達成しており、千葉県においても一桁の達成が悲願となっております。

当社の昨年度の労働災害は一昨年に続き「ゼロ」でありました。この2年連続の「ゼロ災害」は、現場における継続的な安全管理活動の大きな成果であり、今後も継続されることを期待しております。現場における重大災害につながる危険は、日々の作業の中に多く潜んでおります。決められた手順を守り、ムリのない作業を心掛け、本年度も「労働災害の撲滅」を目指してまいります。

「ゼロ災害」を達成するために「墜落・転落」「建設機械」「倒壊・崩壊」の「三大災害の撲滅」に重点を置くとともに、「墜落・転落災害撲滅キャンペーン」「STOP！転倒災害プロジェクト」「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」等への積極的な取組をお願いいたします。

建設業では、今後の工事量の増加、熟練技術者の減少、高齢化の進展などが懸念されており、これらの課題解決に向けた取組が必要であります。当社では「2019年度安全衛生計画」に掲げる「安全衛生目標」の達成に向けて「労働災害防止活動」を実施してまいります。

各職場における皆様には、本週間での当社の週間行事を確実に実施し、実効ある労働災害防止活動を積極的に推進されますことをお願い申し上げ、本年の全国安全週間におけるメッセージといたします。



2019年7月1日
不二公業株式会社
代表取締役 小原 智